



港南台駅周辺を歩く

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日:令和 5 年 2 月 1 日(水)

集 合:港南台駅改札口

解 散:港南台駅

行 程: 港南台駅 ➡ 港南台中央公園 (北側) ➡ 港南台北公園 ➡ 港南台中央公園 (南側)
➡ 港南台駅

港南台駅

当初の計画では JR 根岸線は当駅 500mの南方を通ることになっていたそうです。また、当駅の設置も計画にはなかったようです。しかし、住宅地として開発していた日本住宅公団との話し合いの結果、ルート変更と駅の設置が決まりました。

開業当時の所在地は港南区日野町であったため、建設中の仮称は「湘南日野駅」とされていました。

最終的には、区画整理事業者(日本住宅公団)が、駅周辺を『港南台』の名で開発したのでその通称から「港南台駅」が採用されました。

「港南台駅」の開業当時(昭和 48 年)は乗車客約 4 万人でしたが、現在は 3 万人強と少子・高齢化の影響を受けているようです。

ちなみに現在の洋光台駅、本郷台駅はそれぞれ「矢部野駅」、「新大船駅」の予定でした。

(昭和 41 年 3 月提出の『根岸線延伸路線の駅設置について』より)

港南台中央公園

中央を東西にJR根岸線が横断(地下)する公園で、南側は子供用の遊具が完備し、北側の 8 割ほどは、手つかずの山林のままなので、開発前の様子がしのばれる。

小坪道(鎌倉古道)

弘明寺と金沢・鎌倉を結ぶ鎌倉古道で、小坪道(こつぼみち)と呼ばれていた。

一口メモ

- ★計画時の港南台駅の駅名は別の名前でした。
- ★港南台駅の乗降客数は。
- ★横浜市の公園の数は。
- ★港南台地区の住宅団地の名前は、海鳥と山鳥ですが。



第157回 古民家歴史探訪（栄区周辺散策）

港南区編

港南台駅周辺を歩く 2023年2月1日実施



1973年開業した港南台駅
(周囲には何も無い)

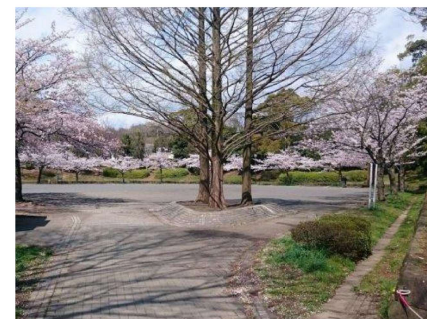


港南台中央公園



全行程：約3km

- ① 港南台駅 800m
- ② ちどり団地入口 600m
- ③ 港南台北公園 500m
- ④ 港南台中央公園 600m
- ⑤ 500m
- ⑥ 港南台駅



港南台北公園の桜